



2009年10月13日  
株式会社ランディード

## Android 専門メーカー ランディード社が QR コードベースの課金、認証サービスプロバイダ”ショットツープレイ社”と代理店契約を締結

株式会社ランディード(東京都品川区 代表取締役 天野友昭)は、この度、独自の QR コード生成による、スムーズでセキュリティ性の高い課金・認証ソリューションを提供する、株式会社ショットツープレイ(横浜市 中区 代表取締役 村木弘和)と販売代理店契約を締結した。

ショットツープレイ社は”Shot2Play”という QR コードベースの課金・認証用アプリケーションを開発、販売し特許を保有している。このアプリケーションは、インターネットに接続された PC やデジタルテレビなどで提供される様々なサービスに対して、ディスプレイに表示される QR コードを、利用者の携帯電話にダウンロードされた Shot2Play アプリケーションで撮影することで 利用者認証(鍵開け)や課金決済を行う、ASP サービスです。

主な用途としては、会員サイトへのログイン認証、有料動画の購入決済、EC サイトでの購入決済、ネット証券での各種認証、ATM 簡易認証、ポイントカード化等多岐に渡り、ユニークな採用事例が広がっている。また、最近ではデジタルサイネージとの融合により、サイネージの視聴率効果測定、視聴によるポイント付与、クーポン配布、携帯電話への広告配信や出版物へのコレボレーション等への応用も期待される。

一方、ランディード社は米 Google が提供するモバイルプラットフォーム”Android”をベースにした総合プロデュースをコンセプトに、アプリケーション・コンテンツから組み込みソフト、端末開発までをトータルにプロデュースするために設立されたベンチャー企業である。主な取引先は大手電機メーカ、自動車メーカに加え、国内エンターテインメント企業等であることが同社の特徴である。

Android を切り口にクラウドコンテンツの提供に注力を始めた同社が今後 Shot2Play を販売することにより、多くの端末(モバイル、キオスク)メーカ、テレビメーカでの採用が期待されると同時に同社は、エンターテインメント系企業のファンサイトなどへの展開も視野に入れ一層の広がりが期待される。

今後両社は”Shot2Play”の Android 対応でも協力を推し進める予定。今回の代理店契約締結に関して、ランディード社 代表取締役 天野友昭氏は以下のようにコメントしている。

“ 今回の提携により、先進的な Shot2Play アプリケーションを当社顧客であるモバイル機器メーカや表示機器メーカ、エンタメ企業等多くのパートナー企業に紹介し、クラウド



デバイス時代の課金・認証のデファクトスタンダードになるべく活動を行う。当社が当面のターゲットにしている Android ベースのソリューションはその第一歩である。”

ショットツープレイ社 代表取締役 村木弘和氏は以下のようにコメントしている

“ Shot2Play は現在国内 3 キャリアに対応しています。今回の提携により Android への対応が実現できる事を非常に嬉しく思います。Android 対応により、さらに幅広い分野において Shot2Play の活躍の場が広がることを期待しています。 ”

本リリース及び製品・サービスに関するお問い合わせ先

株式会社ランディード 広報担当宛

TEL: 03-3493-8647

Email: marcom@randido.com